

産学交流企画(高専4年生) 2025活動報告

島根県技術士会 青年部

島根県技術士会青年部会では2017年度より松江高専生に特化した産学交流企画を開催しています。今回は8回目の開催です。令和7年11月20日(木) 13:10～16:00（2コマ分）の時間にお邪魔して、建設業の説明と、島根県内で働く技術者の先輩として、これから進路を決める学生たちの質問に答えました。

○内容

前半:土木のお仕事&仕事のしかた説明

各職種(行政、コンサルタント、ゼネコン)の土木技術者がどのような仕事を担い、どう連携しているのか、実際の事業(道路改良等)をテーマに説明。

後半:各職種との相談タイム

学生を少人数の班に分け、以下の1～4の職種を回ってもらう。

- ①行政:要望、予算確保、各業務発注、用地買収、各種調整
- ②コンサルタント(調査):測量、調査(地質、用地、環境等)
- ③コンサルタント(設計):設計
- ④ゼネコン/メーカー:工事(土工、トンネル、橋梁、舗装)

学生のみなさんに、印象に残った点や良かった点を伺ってみると、

- ゼネコンで不安に感じた部分があったが、その会社についてもっと調べてみるといいと言われて悩みが解消した。
- 自分の選択肢になかった会社についても業務内容に限らず様々な情報を知ることが出来たこと
- 建設コンサルタント、公務員、ゼネコンの3種の分野について、沢山のことをきくことができ、違いなどがよく分かりました。
- 県職員についてあまり知らなかったので印象に残った

などの声がありました。

技術士の方からも、「学生の皆さんが思っていた以上にしっかりと将来を見据えていたこと」「地方における建設産業の重要性(必須性)を伝えることができた」「若い方々の就活で重視することなどを肌で感じる事ができた。」との声もありました。

次回は春頃に開催予定です。技術士会のみなさま、またのご参加をよろしくお願いします。

